

富海地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月15日（土） 午後6時～7時

【場所】 富海公民館 大会議室

【出席者】 富海地域住民ほか 計16名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

国からの援助などもないので、財政面を考えて、現在地での建替えを希望する。

◆質問者2

何でもやろうと思えば障害があるはず。現庁舎なら安いといっても、現庁舎で今あるものを潰して建替えとなれば、なかなか進まないとか、色々な支障が出てくるはず。駅北なら、こういう位置でやるんだという信念が欲しい。お金がかかるけど、皆がこれならいいなあという気持ちになるような、市の意志が感じられない。もっと気持ちを前面に押し出して説明して欲しい。高くつくとか安くつくとかの説明ではなくて、北に建てれば、活性化になる、建替えるまでの期間中の支障もない、というようなことをもっと言うほうが良い。

●庁舎建設室長

現在地を希望するという意見は、これまでも沢山いただいているので、受け止めさせていただく。やる気の問題というお話があったが、説明を割愛した部分を少しご紹介したい。3ページの左下の将来像のところだが、防府市の都市再生をしようということで、市庁舎をそのきっかけにしたい。そのためには、今後策定する中心市街地活性化基本計画などに織り込んでいく必要があるが、市庁舎を建替えるというチャンスを居住の誘導などに活かしていきたい。

民有地なども含む計画になるので書けないところもあり、具体性に乏しいと言われるとそのとおりだが、説得力がないという貴重なご意見をいただいたので、今後、書けていない部分については努力していきたい。

◆質問者3

折角、80億、100億のお金を投じて新庁舎を作るのであれば、何かの引金になっ

て防府が変わってくる、そういうものを作って欲しい。停滞している都市の起爆剤になるような、ここに作ればこうなるんだというようなものに乏しいと感じる。

◆質問者 4

先ほどの説明は、防府の駅前北側にシニア層の人を集めたいというように受け取ったが、今からこの中心地に居住される人を集めていくという意図があるということか。

●庁舎建設室長

引金、起爆剤の件は、正にそのとおりだと思う。八王子一丁目の街区は、昭和12年から耕地整理というものをやっている。昔の形のままとというのが停滞の原因かも知れない。今後、できるだけ具体的な絵を描いてお示ししたいと思っている。

居住については、シニア層だけでなく、若い人達にも住んでもらって、できれば三代くらいが入り混じっているのが一番良いだろう。ここにピンポイントで人を集めようというわけではないが、役所を作ることで少なくともこの辺りで民間活力などのマインドが刺激できると良いと思っている。

◆質問者 5

富海の場合、駅を利用して行くときの利便性が考えられるが、防府駅の場合、富海と大道しか駅がないけれども、富海では駅が重要視されるのではなく、これからも車社会というのは避けて通れないと思うので、駐車場が十分確保できる場所がいいと思う。

◆質問者 6

私も市役所をよく利用するが、効率の悪い建物だなあとと思う。1号館、2号館、3号館とバラバラになっている。敷地を一杯に活用して効率の良い建て方をしたら良い。

●庁舎建設室長

おっしゃられたとおり、現状では市役所に行くのに電車に乗っていく人は少ない。どちらに建てるにしても駐車場は必要。駅北公有地エリアでも一部立体駐車場になるが、180台は確保することになっている。現行の146台より少し増える。

現庁舎は高度成長期に継ぎ足し継ぎ足しで作ってきた。今度建てる場合は、一戸建ての効率の良い建物にしたい。

●市長

一刻も早く最新の情報を市民の皆様にお示ししたいという気持ちで4月の連休までの間に全地区を回っている。この後も、例えば、自治会連合会の方とか、商工会議所の方とか、青年部の方とか、JCの方とか、老人クラブの方とか、障害者団体の方とか、ご説明をしていく必要を大いに感じている。その上で、自分たちはこういう形でまちを作っていこうと考えておりますということをしっかりお示しできるんじゃないか。信念が欠けている、もう少し気合を入れてやらないかと思われる部分もあるのかも知れないが、別の見方をすれば、駅北ありきでどんどん進めているというお叱りも受けている。様々なご意見が交錯している中で、判断を誤ることのないようにしていかなければならない。

行政体としては、検討委員会でいただいた判断を尊重していくことは当然のこと。まだまだ議論は続くだろうし、そろそろどこかに市役所を作る必要があり、その準備を着々とやってきたということをご理解いただきたい。熱心なご討議をいただき、心から感謝申し上げます。